

<仙台国税局長賞>

税には感謝の気持ちを

泉崎村立泉崎中学校

3年 半澤 月菜

税金は、私たちの生活の中でたくさん助けてくれています。でも、小さい頃から「税金って、なんで商品の値段とは別に払っているのだろう」と疑問に思っていました。確かに、嫌なイメージ、デメリットもあるかもしれません。しかし、よく考えてみれば、メリットの方が多いのではないでしょうか。

税についてあまり知らなかった私ですが、最近、税に関わる仕事にたずさわっている方や、社会の先生に税に関するお話を聞きました。そこで私は、改めて税のありがたみを感じました。今、もはや税金を払うという事は、当たり前になっています。でも、その当たり前のことをしなくなったら、この世の中が一変するに違いありません。皆が望む世の中ではなく、良い方向に進まなくなります。つまり、当たり前が当たり前はなくなってしまうこと。税の負担が大きいと思う人がいたら、よく考えてほしいです。それよりもたくさんのメリットがあると。私も、「なんで税があるのだろう」と思ったことがあります。でも、子供だって消費税を払って商品を買って、税に支えられていることに気付きました。私が、当たり前のように通っている学校ですが、全ての教育費がほとんど税金なのだそうです。数字で表すと、なんと一人あたりの年間の教育費は、約99万円。私たち中学生は、税金に支えられ、毎日を過ごしているのです。私たちは、将来の目標に向かって日々、勉強しています。税金のおかげで私たちの頑張ることができる環境があると思うと、感謝の気持ちとやる気が湧いてきます。そして、税で成り立つ世の中のためにも、これからの自分のためにも税金は払うものだ実感できます。当たり前のように払う税金がなかったら、教育費の負担がかかり、もしかすると学校に行

きたくても行けない人がでてくることも考えられるでしょう。そして、もう一つ、私が感謝してもしきれない「復興特別所得税」というものがあります。東日本大震災を経験したのは、私が小学2年生の頃。税金という存在に疑問を持ち始めた頃かもしれません。この税金は、私を救いました。当時は、税金によって復興に近づいたとは、思ってもいませんでした。今も、完全に復興したとは言い切れません。しかし、自分も経験し、自分も助けられたという事実を知ったら、私も税金を通してたくさんの方に協力していきたいと思いました。

このように、税金は、子供も大人も、助けられている場面がたくさんあります。もちろん、この他にもたくさんの種類の税があり、たくさん支えられる場面があるのです。当たり前払っている税金、当たり前のように過ごしている日常生活を一度見つめ直し、税に対して感謝の気持ちを持つてみてはいかかでしょうか。